



# 北療だより

令和8年5月号  
第67号  
(発行)  
広報誌編集会議

## 東京都立北療育医療センター

本院 東京都北区十条台 1-2-3 TEL:03-3908-3001 FAX:03-3908-2984  
<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kitaryou/index.html>  
城南分園 東京都大田区東雪谷 4-5-10 TEL:03-3727-0521 FAX:03-3726-7816  
<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/jounan/index.html>  
城北分園 東京都足立区南花畑 5-10-1 TEL:03-3883-5131 FAX:03-3885-9675  
<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/johoku/index.html>



北療本院

北療だよりは以下のホームページでも御覧いただけます。ぜひ御覧ください。

[https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/kitaryou/kitaryou/kitaryodayori\\_new/dayori\\_old](https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/kitaryou/kitaryou/kitaryodayori_new/dayori_old)



## 小児科部長の御挨拶

令和8年(2026年)4月1日付で小児科部長に就任いたしました南谷幹之です。私は2018年4月に北療育医療センターへ赴任して以来、日々多くの患者様とご家族の皆様を支えられながら診療に携わってまいりました。このたび前任者の定年に伴い、重責を引き継ぐこととなり、身の引き締まる思いであります。

当科では、外来診療や病棟業務といった医療提供に加え、短期・長期入所、通園、通所など、多面的な療育を展開しております。また、近隣の学校や地域機関、主治医・訪問診療医との連携をさらに強化し、医療と福祉が一体となった障害者支援をこれまで以上に推進していく所存です。

近年、ご家族のレスパイトを目的としたショートステイ利用のご要望が増えております。在宅医療の進歩により医療機器は充実した一方で、医療的ケアを含む在宅でのケアは複雑化し個別性も高まり、ご家族の負担は大きくなっています。ショートステイは家族支援の重要な柱であり、地域医療と連携しながら、利用者の年齢や発達段階に応じた機能評価も併せて行ってまいります。

日本では人口が減少するなか、少子高齢化が急速に進み、2025年の出生数は70万人と過去最低を更新する見込みです。その一方で、医療的ケア児は増加傾向にあり、発達障害を含む療育ニーズも多様化しています。こうした社会状況の中で、当センターを訪れる患者様とご家族の皆様へ寄り添い、安心して利用できる場であり続けられるよう努力してまいります。

今後ともご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科部長 南谷 幹之

## 新任訓練科長の御挨拶

令和8年（2026）4月1日付で訓練科長に赴任いたしました、古山（ふるやま）明子と申します。入職後は当センターで理学療法士として勤務し、令和4年4月からの4年間は城北分園で経験を重ねてまいりました。その中で、利用者の皆様やご家族、そして職員の皆様から、多くのことを学ばせていただきました。子どもやご家族を取り巻く福祉・支援の在り方が変化中、訓練科ではPT・OT・STが力を合わせ、一人ひとりの生活や思いに寄り添った支援を大切にしています。これからも多職種で協働し、利用者のご家族が安心して暮らせる支援を目指してまいります。職員の皆様にも、お力添えをいただくことも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



訓練科長 古山 明子

## 新任事務次長の御挨拶

本年4月1日付で事務次長に着任しました松村洋子と申します。3月までは、デフリンピック準備運営本部において、11月に開催されたデフリンピック大会の運営や大会を契機とした共生社会の実現に向けて取り組んでおりました。

入都以来、福祉局勤務は初めての経験ですが、重い障害のある方が地域で安心して暮らし、社会参加を支援する北療の業務にやりがいを感じています。今年度は、電子カルテ導入や、老朽化した施設の移転改築に向けて課題がありますが、利用者様へのサービス向上のため精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



事務次長 松村 洋子

## 新任医師の御紹介（小児科 照井）

令和8年4月1日付で小児科に赴任いたしました、照井明日香（てるい あすか）と申します。出身は兵庫県で、東京慈恵会医科大学に入学、令和3年に卒業いたしました。現在、医師6年目になります。

東京慈恵会医科大学小児科に入局後は、附属病院、葛飾医療センターにて半年間、西部医療センター（旧・第三病院）にて2年間研修を行ってまいりました。

これまで主に感染症などのコモディティーズを中心に経験してまいりましたが、重症心身障害児の診療については新たに学ぶことが多く、日々大変貴重な経験をさせていただいております。多様な併存疾患に対応する中で、学びの機会に恵まれていることを実感しております。

## 新任医師の御紹介（整形外科 中田）

2026年4月より北療育医療センターに赴任した中田剛嗣です。

今まで複数の医療機関を回らせて頂きました。リハビリテーション病院を除き、主に急性期医療機関を回りました。そこでは、外科的・内科的加療を含めた治療並びに治療経過を診ておりました。医療機関は、治療を行う印象が強いのと思います。北療育医療センターでは、治療と療育が重なります。長い目でみると、利用者との関わりは一瞬になると思います。その中で、今を把握し、より良い方向へ数年から数十年を繋げられるようにする。その中で得た知識や経験を社会的な理解のヒントになればと思っています。これまで小児分野に触れる機会は少なく、色々ご迷惑をおかけすると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



### 城南分園 通所入所式

4月8日(水)、城南分園にて入所式を行い、新たに2名の利用者をお迎えしました。城南分園では7年ぶりとなる入所式で、自己紹介や歓迎の歌が披露され、終始和やかな雰囲気の中で式が進行しました。参加者の笑顔が多く見られ、新しい仲間の門出を温かく祝う、アットホームな式典となりました。これから始まる毎日が、それぞれにとって実りある時間となるよう、温かな支援を続けていきます。



### ようこそ城北分園通園！オ〜〜〜ブン！！

令和8年4月3日(金曜日)、城北分園通園に新たに3名のお友だちが仲間入りし、28名でのスタートとなりました。わくわくしながらも、少し緊張しちゃう入園式……。畑中事務長や花畑学園永島校長にやさしく声を掛けられると表情も和らいだようでした。その後は、通園に関わる職員の皆さんによる紹介と車や飛行機になってブンブンのビュンビュン……。手遊び歌で走り回って、緊張した雰囲気はいつもの楽しい通園の雰囲気に変わっていました。これからはもっと楽しいことが待っていますよ〜！！

## 都立北療育医療センターで看護師として一緒に働きませんか

北療育医療センターの看護科は「一人ひとりの笑顔を大切に、看護の原点がここにある」をキャッチフレーズに、重症心身障害児・者の方々に看護・療育を提供しています。

重症心身障害看護は個別性が高く、専門的な知識や高い技術が求められます。

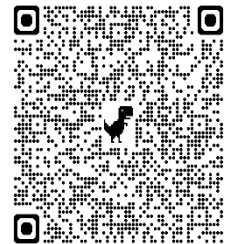
一人ひとりの意思表示を理解し、求めているケアを提供できた時の看護師の喜びや達成感は、「看護師になって良かった」と感じられる瞬間です。

看護の基本的な知識・技術はもちろん、専門的な重症心身障害看護についても新人看護師の臨床研修からベテランが受講するジェネラルコースの研修まで、丁寧に指導する研修体制が整っています。

今年度も北療育医療センターを含む都立療育施設では、看護師を募集しています。

採用選考について詳細は福祉局HPを御覧ください。

**一人ひとりを大切にし続ける仲間として、一緒に看護しましょう。**



北療だよりに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

- 編集責任者 事務次長 松村 洋子
- 住所 東京都北区十条台一丁目2番3号
- 電話 03-3908-3001(代表)

北療育医療センターは、

心身に障害がある方々の、

医療と療育の総合施設です。

